

令和 6 年 7 月 11 日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をよりわかりやすくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、7 月 16 日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日 時：令和 6 年 7 月 18 日（木）15:30 ～ 17:00 第 1 会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

○主な話題

- ・ みんなく創設 50 周年記念特別展「吟遊詩人の世界」 （話者：本館教授 川瀬 慈）
- ・ みんなく創設 50 周年記念企画展「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」
- ・ 企画展関連
みんなく映画会「一八九五」 （話者：本館准教授 奈良 雅史）
- ・ みんなく創設 50 周年記念研究公演
「アリラン峠の向こうには——在日コリアン音楽のこれから」 （話者：本館教授 福岡 正太）
- ・ 最新の研究紹介「辺境のラッパーたち：立ち上がる「声の民族誌」」
（話者：本館教授 島村一平、特別客員教授 ダースレイダー）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。

報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOM にて参加する

来館して参加する

貴社名 _____

御職名 _____

御芳名 _____

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
- ・ 7 月 18 日 (木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
- ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。

※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。

※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。

※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声がでないようにお願いします。

質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。

不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

令和6年7月18日（木）報道関係者と民博との懇談会
15：30～17：00 於：第一会議室

	話題	内容	担当（予定）	予定時刻 （分）	備考
	挨拶	ご挨拶	吉田 憲司 館長	3	定例
	ニュースリリース	3ヶ月行事予定	山中 由里子 広報企画会議長	2	定例
【 展示 】					
	特別展	みんなく創設50周年記念特別展「吟遊詩人の世界」	川瀬 慈 教授	10	
	企画展	みんなく創設50周年記念企画展 「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」 企画展関連 みんなく映画会 「一八九五」	奈良 雅史 准教授	10	
【 研究 】					
	研究公演	みんなく創設50周年記念研究公演 「アリラン峠の向こうには——在日コリアン音楽のこれから」	福岡 正太 教授	10	
	最新の研究紹介	辺境のラッパーたち：立ち上がる「声の民族誌」	島村 一平 教授 ダースレイダー 特別客員教授	10	

合計時間 45 分（予定・質疑応答別）

◆今後の予定
令和6年9月18日（水）12:00～ みんなく創設50周年記念特別展「吟遊詩人の世界」内覧会

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2024年7月18日(木)15:30～17:00

懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

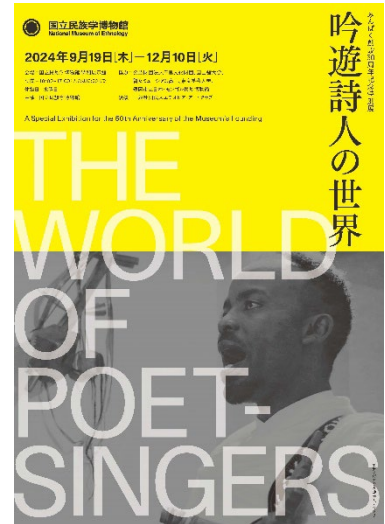
●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

3. みんなの創設50周年記念特別展「吟遊詩人の世界」

各地を広範に移動し、詩歌を歌い語り、世界を異化する吟遊詩人は古代から各地に存在しさまざまな役割を担ってきました。本特別展ではアジア、アフリカの吟遊詩人のパフォーマンスやそれらを成立させる物質文化を紹介します。同時に吟遊詩人を支え育んできた地域社会の息吹を伝えます。

会 期：2024年9月19日(木)～12月10日(火)
会 場：特別展示館
観覧料：一般 880 円、大学生 450 円、高校生以下無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください
※本館展示もご覧いただけます



— 川瀬 慈 (学術資源研究開発センター 教授) —

4. みんなの創設50周年記念企画展

「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」

華僑華人の一派に客家と呼ばれる人びとがいます。客家は、世界各地に居住し、政治・経済・文化など各方面で成功を収めてきたため、「東洋のユダヤ人」と呼ばれることもあります。19世紀後半以降、客家は日本と密接な関係を築きあげてきました。特に1895年に日本が台湾を植民地とすると、台湾の客家にとって日本は身近な存在になります。また、一部の客家は台湾などから日本へ移住し、団体をつくり、生活を営んでいます。客家と日本の関係に焦点を当てることで、これまであまり知られることのなかった東アジア関係史の一面を探ります。

会 期：2024年9月5日(木)～12月3日(火)
会 場：本館企画展示場
観覧料：一般 580 円、大学生 250 円、高校生以下無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください
※本館展示もご覧いただけます



1930年代の台湾における客家の夫婦

— 奈良 雅史 (学術資源研究開発センター 准教授) —

企画展関連 みんぱく映画会『一八九五』

日本による植民地化が始まる 1895 年の台湾を舞台に、客家をはじめとする台湾住民が日本軍に抵抗した状況が、当時軍医として現地に滞在していた若き文豪・森鴎外の視点で語られていきます。

日 時 2024 年 9 月 8 日(日)13 時 30 分～16 時 15 分(13 時開場)
会 場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員 350 名)
参加費 要展示観覧券(一般 580 円)※イベント参加費は不要
解 説 河合洋尚(東京都立大学 准教授)
司 会 奈良雅史(本館 准教授)
※事前申込制(本人を含む 2 名まで)、先着順
※一般受付/8 月 5 日(月)～9 月 4 日(水)16 時



— 奈良 雅史(学術資源研究開発センター 准教授) —

5. みんぱく創設50周年記念研究公演

「アリラン峠の向こうには——在日コリアン音楽のこれから」

在日コリアンの苦難の象徴であるアリラン峠の先には、どのような「希望」がみえるのでしょうか。2014 年の研究公演で共演した 3 組の音楽家たちが再びみんぱくにつどいます。日本、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国のはざまで彼らが紡ぎだしてきた音楽をとおして、在日コリアン音楽のこれからをみつめます。

日 時: 2024 年 8 月 25 日(日)14 時～16 時 30 分(13 時 30 分開場)
会 場: みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員 400 名)
参加費: 要展示観覧券(一般 580 円)※イベント参加費は不要
演 奏: 李政美、安聖民、河栄守、金栄実、梁聖晞ほか
解 説: 高正子(大阪コリアタウン歴史資料館 館長)
司 会: 福岡正太(本館 教授)
主 催: 国立民族学博物館
※一般受付/7 月 22 日(月)～8 月 21 日(水)16 時



— 福岡 正太(人類文明誌研究部 教授、副館長) —

6. 最新の研究紹介

『辺境のラッパーたち：立ち上がる「声の民族誌」』

島村一平（編）、ダースレイダーほか（著）

ラッパーのことばに耳をすませば、世界のリアルが見えてくる。戦火が絶えないガザやウクライナで、弾圧が続くチベットやイランで、格差にあえぐモンゴルやインドで、海の端の日本で——。アメリカで生まれたヒップホップ文化、なかでもラップミュージックは世界に広がり、「辺境」に生きる者たちは声なき声をリリックに託す。現代社会の歪みを鮮やかに映し出す、世界各地のラッパーたちの声を幅広い執筆陣が紹介します。ラッパー・ダースレイダー、ハンガー（GAGLE）のインタビューも収録。



ダースレイダー（和田礼）

吉田正樹事務所ラッパー、作家、評論家、映画監督

研究部／研究部門

人類文明誌研究部 特別客員教授

就任日 令和6年4月1日～

研究課題 辺境・日本におけるヒップホップの特殊性と普遍性に関する研究

— 島村 一平（人類文明誌研究部 教授） —

— ダースレイダー（人類文明誌研究部 特別客員教授） —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp